

“ふるさとを愛し、夢に向かって たくましく生きる子ども”



廣野っ子



酒田市立広野小学校便り

令和4年4月1日

一人一人が卒業証書を胸に、広野小学校を巣立ちました。



3月18日、春とはいえ肌寒さを感じる天気の中、卒業証書授与式を挙行了いたしました。14名の卒業生に一人ずつ卒業証書を手渡しすることができました。昨年度同様、新型コロナウイルス感染予防対策のため、例年より規模を縮小した式ではありましたが、在校生・職員一同心を込めて、卒業生を送り出しました。裏面に式辞を抜粋したものを掲載いたしました。どうぞご覧ください。

この度の転出入のお知らせ

＜転出・退職＞大変お世話になりました。

齋藤 太	校長	(泉小へ)
黒田 晋	教頭	(米沢市立興譲小へ)
朝岡 浩子	教諭	(ご退職)
大谷 桃子	教諭	(亀ヶ崎小へ)
伊藤 公子	教育支援員	(浜中小へ)
門脇 隆子	調理員	(酒田六中へ)

＜転入＞よろしく申し上げます。

阿部 美穂	校長	(金山町立有屋小より)
佐藤 好博	教頭	(宮野浦小より)
富樫 隆夫	教諭	(松山小より)
阿彦 里歩	教諭	(新規採用)
黒井 美和	教育支援員	(新規採用)
名古 光恵	調理員	(鳥海小より)

4月より新しい体制になります。今までと変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

卒業証書授与式 式辞

幾度となく大雪に見舞われた冬も終わり、気づいてみるとあちらこちらに春を感じることができます。日差しのやわらかさとともに、木々の芽吹きに生命の力強さを感じられる季節となりました。この佳き日に、広野小学校PTA会長 佐藤佳範様、広野コミュニティ振興会長 佐藤淳様をお迎えし、保護者の皆様、在校生のみなさんとともに、卒業証書授与式を挙行できますことを、大変ありがたく思い、心より御礼申し上げます。

広野小学校 くれよん学年十四名のみなさん、ご卒業おめでとうございます。今、卒業証書を受け取る一人一人の目の輝きに四月からの新しい生活に向けての夢と希望を感じ取ることができました。昨年度に引き続き、今年度も新型コロナウイルス感染症対策のために、多くの活動を制限したり取りやめたりしなければなりませんでした。それでもあきらめず、自分たちができることを見つけ、学習に取り組んだみなさんのがんばりはとても見事でした。また、みなさんは学校のリーダーとしてどんなことにも明るく元気に取り組み、後輩たちから頼りにされてきました。皆さんの活躍を在校生はあこがれのまなざしで見つめていました。広野小学校の伝統を受け継ぎ、そこに新たな感性を加え、よりよいものにしてくれた皆さんには、大変感謝しております。ありがとうございました。

さて、昨年シーズン、アメリカのメジャーリーグでリーグ最優秀選手賞をはじめたくさんの賞を獲得したロサンゼルスエンゼルスの大谷翔平選手の活躍はみなさんも知っていると思います。コロナ禍で明るいニュースが少ない中、記録だけではなく記憶に残る大活躍でしたね。プロではほとんど例がないピッチャーとバッターの二刀流を成功させ、本場アメリカの選手ですら成し得ない偉業を成し遂げました。不可能とも言われていた二刀流を成し遂げたこの若い選手が東北出身であるということも、私たちにとっては親近感を覚えるものでした。バッターボックスに立つときも、マウンドに上がるときも、テレビに映る彼の姿はいつも楽しそうに笑顔を浮かべていました。うまくいかないときでさえも楽しそうに見えました。きっと自分のチャレンジを心から楽しんでいたのでしょう。また、彼は高校生の時から野球選手としての自分の目標を明確に決めて、それを達成するために、体づくりや精神面でいつまでにどんなことに取り組んで何ができるようになるかという細かい設計図を作っていました。最終的な目標を先に設定し、そこからいつまでに何を達成するかを決めていくのは皆さんが取り組んでいるSDGsと同じ手法です。計画に基づいてそれを一つ一つ達成していったからこそ、今の成功があるのです。さらに大谷選手は今が自分のピークではないとはっきり言っています。自分の限界を決めずにさらに上をめざす姿には頭が下がります。

これから、新しい環境に飛び込む卒業生の皆さんにとって大谷選手から学ぶことができるものは少なくないと思います。どうぞ、やりたいと思ったことに積極的に挑戦し、その挑戦を失敗も含めて楽しんでください。自分のやりたいことについて目標を定めて、それを達成するために細かい計画を立て、思ったことを実現させてください。簡単に限界を決めずにもっと先へもっと上へと可能性を高めていってください。広野小学校はいつだって皆さんを応援しています。

さて、保護者の皆様、改めまして、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。二年を超える新型コロナウイルス感染症対策により、今までにない不安を感じることもあったことと思いますが、無事にお子様ご卒業の日を迎えられ、今日の喜びはひとしおのことと存じます。保護者の皆様にご理解ご支援を賜ったことで、今年度を無事に終えることができました。過去に例を見ない制限の願いを何度もしなければならぬこともあり、保護者の皆様にご参列いただいて卒業式のご挨拶をさせていただけることは大変嬉しいことであり、改めて御礼申し上げます。四月からお子様は中学生になりますが、今までと変わらぬ温かい愛情を持って支えていただくようお願い申し上げます。

くれよん学年の卒業生十四名の前途が、その名前の通り自分のカラーで鮮やかに彩られることをご祈念申し上げ、式辞といたします。